

13	豊橋	○青陵中 楠木知也 青陵中 石橋雅至 青陵中 河合 詩穂 青陵中 岡田 淳史
		東陵中 佐藤祐広 東陵中 加藤慎也 東陵中 矢口紗友美 下条小 榎下奈津美
		牛川小 西村杏奈 牛川小 森谷貴司 牛川小 富安 里美 旭 小 浅沼 恵太
		東田小 原田拓希 東田小 鈴木祐志 東田小 滝川 兼光
		鷹丘小 青山智美 鷹丘小 杉浦 旭 鷹丘小 山田千鶴子

分科会番号	11a	分科会名	保健体育（体育）
-------	-----	------	----------

## 研究題目

仲間と関わり合いながら、戦術を学ぶことで、攻防の面白さや魅力を感じられる生徒の育成  
～第3学年 ベースボール型「SBC（青陵ベースボールクラシック）開幕！

どうする自分！役割を見つけてチームに貢献しよう！！」の実践を通して～

### 1 主題設定の理由

本学級の生徒に体育の授業は好きか問うと、34人中29人が「好き」「やや好き」と答えた。肯定的に答えた生徒の理由は「体を動かすのが楽しいから」「関わりながらできるから」「協力するのが楽しいから」という理由で占めた。体育の授業でこれまで記憶に残っていたり、楽しかったりした領域は何かと問うと、34人中21人が球技と答えた。更に、球技の好きな型は何かの質問には、ゴール型14人、ネット型14人、ベースボール型7人であり、球技の中でも、ゴール型とネット型が好きな生徒が半数以上を占めた。ベースボール型については「ルールが複雑で試合をしても、自分がどう動くべきかわからなかった」「打つのが難しかった」「フライもゴロもグローブで捕るのが難しい」などの感想があり、ルールの複雑さとバットやグローブを用いる技能習得の難しさを感じた。

中学校保健体育学習指導要領解説編には「作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること」を第3学年の球技のねらいとしている。ベースボール型は、必ず3つの塁を順に進塁して得点を目ざし、アウトカウントを除くと、ランナーがいる場面は7通りである。ゲームを多く重ねることで攻撃、守備ともに経験したことがある状況に出会うことが多く、再現性が高い運動である。また、試合中はプレイが発生するまでの「間」があるため、自分自身で学びを思い起こしたり、チーム内でコミュニケーションを取り合ったりすることで、攻守ともに自分自身が次のプレイで何をすればよいのかを考えやすい。これらのことから、ベースボール型ゲームは、戦術を学ぶことや仲間と連携したゲーム展開が期待でき、体育の授業において、仲間と関わり合ったり、協力したりすることを楽しいと感じている本学級の生徒たちには適した運動種目であると言える。

そこで、どの生徒にとっても扱いやすいよう教具を工夫し、仲間と関わり合いながら、進塁をめぐる攻防の戦術を学ぶことで、ベースボール型の攻防の面白さや魅力を実感できるのではないかと考え、本研究主題を設定した。

### 2 研究の構想

#### (1) 目ざす生徒

仲間と関わり合いながら、戦術を学ぶことで、攻防の面白さや魅力を感じられる生徒

#### (2) 研究の仮説

- ① 小学生ハンドボール、学校体育用バットを用いることでボール操作が容易になり、抵抗なくゲームに臨むことができるだろう。
- ② 状況を指定したタスクゲームからのゲーム中心の単元構想で多くのゲーム経験を積んだり、ゲームに向けて、チームで『テーマ』を決めたりすることで、関わりながら、戦術を学び、攻防の面白さや魅力を感じられるであろう。

#### (3) 研究の手だて

- ① 教具の工夫(小学生用ハンドボール&学校体育用バット(ポリウレタン製)  
本単元では、グローブは用いず、ボールはやわらかくて投げやすく、捕りやすい小学生用ハンドボールを用いる。【資料1】バットは金属ではなく、軽く振りやすい学校体育用バット(ポリウレタン製)とする。軽く、振りぬきやすい操作性の高いバットであるため、方向を定めて狙ったバッティングができるのではないかと考える。ボール、バットともに扱いやすく、技能習得に時間を要しないことで、抵抗なく、ゲームに臨むこと



【資料1】小学生ハンドボール&学校体育用バット



メイン

よりチームに合った戦術を見つけよう！！(20)

＜守備＞

- ・1塁ランナーを進めさせないようにしよう。2塁にはわたしが入るよ
- ・1塁ランナーが2塁へ進むのはOKとして、ランナーをためて大量点しないように確実に打者をアウトにしよう
- ・ゴロを打ってきそうだから内野の人数を増やそう
- ・ランナーが3塁のときは、1点をとりきそうだから、すぐに前へでるようしよう
- ・ランナーの足の速さを考えてどこでアウトにするのかを決めておこう
- ・点差があるから、一つずつアウトを前のランナーより、確実にアウトをとっていこう

＜攻撃＞

- ・1塁ランナーがすぐにアウトにならないようにするために、2塁付近には打たないようにしよう
- ・2、3番が打つのが得意な子がいるから、1番は1塁ランナーを進める打球を打とう
- ・守備が上手な子がいるところには打たないようにしよう
- ・点差がついているから、1点をとるんじゃなくて思いっきり打とう
- ・3塁の前に転がせば、セーフになる確率が高まりそう
- ・バッターは絶対にゴロを打って、ランナーは打った瞬間に走ろう

チームに貢献できうれしいな。どうやって攻めたり、守ったりしたらいいかわかったよ  
点差やアウトカウントでも攻撃や守備が変わってくるんだね  
これまで学んできたことを発揮してクラスリーグ戦で優勝したい！！

SBCで優勝しよう！！(10)

どう動けばいいかわかると楽しかったね。チームに貢献できるとうれしいよ  
ベースボール型の相手の読み合いは楽しいな  
野球やソフトボールに興味をわいたよ

よりよい戦術を見つける、深める

学んできたことを発揮する

### ③ チームで『テーマ』を決める

チームごとにゲーム前にテーマを決め、ゲーム後に振り返り、次時のテーマを決める。チームでゲームを振り返り、関わり合うなかで、タスクゲームだけでは学べない状況に応じた戦術を学ぶことができるであろう。

#### (4) 抽出児 (A女) について

体育の授業は「やや好き」と答えており、ベースボール型については、「打つのが難しい」「ボールを送球すると、変な風にいってしまう」「ルールが複雑で自分がどう動いていいかわからない」と答え、苦手意識をもっている。昨年度は守備の際、早い打球に怖がり、ボールを捕球できなかったり、バットが重いことで空振りしたりする姿が見られた。そこで、用具の操作が容易な教具を用いることで抵抗なくゲームに臨ませたい。そして、タスクゲームで基本的な戦術を学び、テーマを決めて、多くのメインゲームの経験を積むことで、仲間と関わり合いながら、攻防の面白さや魅力を感じてほしい。

### 3 研究の実践と考察

#### (1) 攻め方や守り方がわかるようになりたいな (第2時)

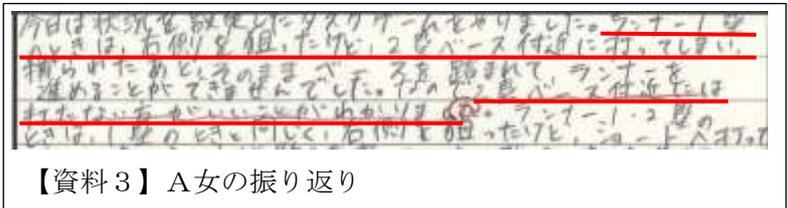
基本的なルールや攻撃では、ランナーを進塁させるためにどこを狙うのか、守備では、進塁を防ぐためにどこをアウトにするべきなのかの戦術が理解できていない様子であった。そのため、状況を設定したタスクゲーム (ランナー1塁、1・2塁、2塁、1・3塁) を行うことにした。第2時では、ランナー1塁、1・2塁を行った。タスクゲームでランナー1塁時にバッターのA女は、2塁ベース付近に打ってしまい、相手に捕球された後、2塁に送球され、1塁ランナーを進塁させることができなかった。

【資料2】守備では、A女は2塁付近を守っていたが、ショートに

ゴロが転がったときに、2塁ベースに入らずにその場で立ちつくしていた。そのときA男から「ゴロがきたときは、1塁ランナーが走ってくるから2塁に入ってね」と声をかけられていた。A女の授業後の振り返りでは、「ランナー1塁のときは右側を狙ったけど・・・2ベース付近には、打たない方がいいことがわかりました」【資料3】と記述されていた。タスクゲーム後のメインゲームのA女は、守備のときに転がってきたゴロを捕球し、1塁に送球することができた。【資料4】事前のアンケートでは、ボール操作に苦手意識をもっ



【資料2】A女のバッティング(1塁時)



【資料3】A女の振り返り



【資料4】A女の守備

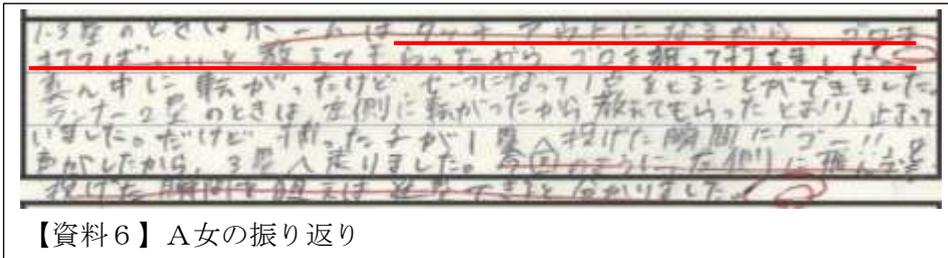
ていたA女であったが、抵抗なく、タスクゲームやゲームに取り組むことができていた。操作が容易である教具だからこそ、単元序盤から、このような姿が見ることができたのではないかと考える。

(2) 攻め方や守り方がわかるようになりたいな (第3時)

第3時は、ランナー2塁、1・3塁の状況のタスクゲームを行った。1・3塁時のA女がバッターのときは、ピッチャー前に弱いゴロを打っていた。【資料5】振り返りには「ホームがタッチアウトになるから、ゴロを打てばいいと教えてもらったから、ゴロを狙って打ちました」と記述しており、意図して転がしていたことがわかる。【資料6】タスクゲームやチームメイトとの関わりによって、A女の戦術の理解がすすんでいることがわかる。



【資料5】A女のバッティング  
(1・3塁時)



【資料6】A女の振り返り

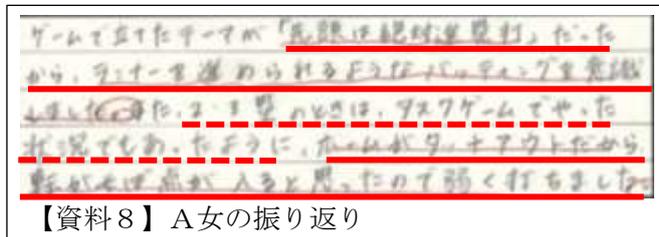
(3) より得点を取ったり、失点を防いだりするためにはどうする？  
(第4～6時)

第4時から、メインゲームを中心に授業を進めた。「より得点を取ったり、失点を防いだりするためにはチームで何ができる？」と問いかけた。A女のチームでは、話し合いで「先頭は絶対進塁打」と本時のゲームのテーマを立てていた。A女は全ての打席で進塁打を狙ったバッティングをしていた。ランナー2・3塁のときは、あえて、右側に弱く打ち、確実に1点を取ろうとするバッティングをしていた。【資料7】



【資料7】A女の右側を狙ったバッティング

第4時のA女の振り返りからも、チームのテーマである「先頭は絶対進塁打」を意識したバッティングやホームがタッチアウトになるときは、弱く打つバッティングを意図的にしていたのがわかる。【資料8傍線部】また、タスクゲームでの学びが生きていることもわかった。【資料8点線部】



【資料8】A女の振り返り

第5時のA女のチームは「ランナーをためて大量得点をとる」がテーマであった。A女がバッターのときは、0アウトランナー1塁のときは、ショートゴロを打っていた。【資料9】その理由が「右側にいた守備が前に来たから、左側を狙って打った」と振り返りに記述されており、相手の守備を見てバッティングを変えていた。



【資料9】ショートを狙って打つA女

第6時の守備では、セカンド付近を守っている際、ショートにゴロがきたときは、2塁ベースに入り、ショートからの送球を捕球した後、1塁に投げ、ダブルプレーを狙う動きを見せた。【資料10】第4時～第6時とゲーム経験を積み、チームで立てたテーマを意識してゲームに臨んできたことで、どうすれば得点に結びついたり、失点を防ぐことができたりするのか考え、理解した動きになってきた。A女も場面に応じたバッティングや



【資料10】ダブルプレーを狙うA女

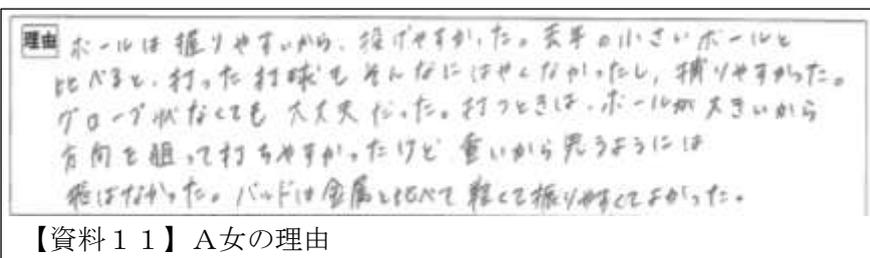
相手の守備位置に応じたバッティング、外野にボールが抜けたあとの動き、フォースアウトを狙い進塁を防ぐ動き、ランナーのときの次の塁を狙う動きなど、ベースボール型における、進塁をめぐる攻防の戦術を理解した動きを見ることができた。

#### 4 手だての有効性と仮説の検証

##### (1) 仮説1の手だてについて

###### ① 教具の工夫（小学生用ハンドボール&ポリウレタン製体育用バット）

本研究では、技能習得を目的としたドリルは、ほぼ行わず、タスクゲーム、メインゲームで単元を進めた。A女に限らず、多くの生徒がバッティングやボールの捕球や送球ができていた。『3 研究の実際と考察』で述べたような、狙って打ったり、転がってきたボールを捕球し、送球したりすることができた。これは、バットが軽く、振りやすい、ボールは飛びにくさがあり、思い切り打っても打球が速くなりにく



【資料11】A女の理由

いからこそその動きではないかと考える。また、ただ打つ、投げるだけではなく、戦術を意識した動きも見ることができた。軽く振りぬきやすいバットと扱いやすいボールであったからこそ、関わり合うなかで攻防に目が向き、このような戦術を意識した動きにつながったのではないかと考える。また、単元終了後のアンケートでは、『ハンドボールやバットは使いやすかったですか』という質問には、35人中32人が「使いやすかった、まあまあ使いやすかった」と答えた。A女は「まあまあ使いやすかった」と答えていた。ボールについては、「握りやすいから投げやすかった」「打った打球もそんなに飛ばなかったし、捕りやすかった」「グローブがなくても大丈夫だった」「ボールが大きいから、方向を狙って打ちやすかった」と答えている。バットについては、「金属と比べて軽くて振りやすくてよかった」と答えていた。【資料11】

これからのことから、手だて「教具の工夫（小学生用ハンドボール&学校体育用バット）」は有効であったといえる。

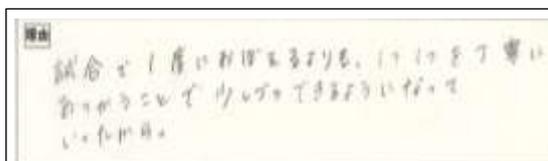
###### ② 状況を指定したタスクゲームからのゲーム中心の単元構想

タスクゲーム前には、この状況の攻撃時はどこを狙うべきなのか、どのランナーを進めたいのか、守備では、だれがどこの塁に入り、どのランナーをアウトにしたいのかをチームで確認する場を設け、実践した。タスクゲーム後は、4時間、合計10試合のゲームを行い、A女は10試合で25回打席に立った。【資料12】はA女の打撃の一覧である。ランナー1塁、1・2塁、2・3塁の状況で打席に入ることが多かった。ゲーム（タスクゲーム含む）を数多く経験し、どこを狙えばいいのかが理解できているため、進塁打の成功率が高くなっているのではないかと考える。単元後のアンケートの『タスクゲームは基本的なルールや戦術を学ぶのに有効であったか』には、35人中32人が「有効だった、まあまあ有効だった」と答えている。A女は「有効だった」と答え、理由は「試合で一度に覚えるよりも、一つ一つを丁寧にあつかうことのできるようになっていったから」と記述していた。【資料13】これらのことから、手だて「状況を指定したタスクゲームからのゲーム中心の単元構想」は有効であったといえる。

ランナーの状況	回数	進塁打成功
1 塁	11	8
2 塁	1	1
3 塁	1	1
満塁	0	0
1・2 塁	4	4
1・3 塁	1	1
2・3 塁	4	4
なし	3	1

※ランナーなしはA女が出塁できた回数

【資料12】A女の打撃一覧



【資料13】A女の理由

###### ③ チームで『テーマ』を決める

本単元では、毎時間これまでの試合の様子を踏まえて、何を意識して試合に取り組むかの『テーマ』を決めた。テーマを決めて取り組んだことで、A女が目的意識をもって攻撃の選択をしている様

子がうかがえた。【資料14】

単元後のアンケートでは、35人中34人がチームで『テーマ』を決めることに「有効だった、まあまあ有効だった」と答えている。A女は「有効だった」と答えており、その理由を「チーム内で課題を見つけて共有することによって、より効率的に勝つことができるし、負けてしまっても改善策を見つければ、次の試合で成長できるから」と答えていた。

他にも、「ベースボール型ゲームの授業はどうでしたか?」という質問には、35人30人が「楽しかった」5人が「まあまあ楽しかった」と答えた。

生徒が答えた理由は、51つあり、一番多かった理由が、

「仲間との関わり」であった。A女は「楽しかった」と答え、「今までルールとか戦い方とかを全く知らなかったけど、色々な人に教えてもらってチーム全体で協力し合って授業を受けることできたから」と記述していた。【資料15】ゲーム前に、

チームでテーマを決めてゲームに臨み、ゲーム後は、振り返りをしてきたことで、関わり合いが生まれ、タスクゲームだけでは学べない状況に応じた戦術を学ぶことができたのではないかと考える。そして、多くのゲームを経験したことで、自分の役割を理解し、チームに貢献でき、ベースボール型の戦術の面白さや魅力を感じられたのではないかと考える。これらのことから、手だて「チームで『テーマ』を決める」は有効であったといえる。

## 5 成果と今後の課題

### (1) 研究の成果

ベースボール型は用具操作の難しさ、ルールの複雑さなどがあり、攻防の楽しさを味わうことができずに、「難しかった」、「打つことができなくてよかった」など、個人の技能の成果で終わってしまうことが多い。しかし、本研究のように、教具の工夫をして、基本的なルールや戦術を学ぶタスクゲームとメインゲームを数多く経験したりすることで、抵抗なくゲームに臨むことができ、仲間と関わり合いながら、戦術を学び、ベースボール型の攻防の楽しさを味わうことができるのではないかと考える。また、A女は「あなたがバッターでランナー1塁だったらどうしますか?」という質問に対して単元前と単元後に変化があった。【資料16】単元前は、「わからない」の回答だけであったが、単元後は、「点差があまりなくて、ノーアウトだったら1塁側に打って、自分がアウトでも進塁打にできるようにする」「1塁側に守備がよくできる人がいたら3塁側へ打つ」「3塁の守備の人が前の方にいたらおもいきり打つ、後ろだったら前の方に」点差や相手の守備位置まで考えて、具体的に書くことができた。

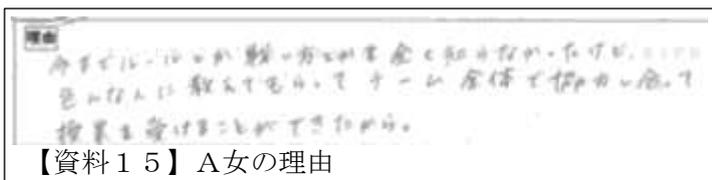
これらのことから、本研究に迫る生徒像「仲間と関わり合いながら、戦術を学ぶことで、攻防の面白さや魅力を感じられる生徒」に迫ることができたと感じる。

### (2) 今後の課題

本研究はティーボールスタンドを用いて行った。しかし、中学校3年生になると、相手投手からの易しい投球から、タイミングを合わせてバッティングをしたり、狙った方向にボールを打ち返したりする姿が見られるのが望ましいのではないかと考える。今回では、これまでの生徒の運動経験、生徒の実態をとらえ、ティーボールスタンドを用いて授業に臨んだが、中学校3年間、または高校までを見通して指導していくことが大切であると感じた。球技特有の攻防の楽しさを味わうとともに、技能について段階を踏んで身につけられるような授業を展開できるように今後も研究を進めていきたい。

時	テーマ	A女の様子
4	ランナーを進める	6打席進塁打成功
5	ランナーをためて、大量得点	相手の守備位置を見て、視野
6	積極的に次の塁を狙う	相手の守備のもたつきを見て、進塁
7	相手の守備位置や守備を見て打つ	左利きを狙って、左打ち
8	絶対に勝つ。1点を確実にとる	前進守備を組んで、思い切り打つ

【資料14】A女のチームのテーマとAの様子【授業記録より】



【資料15】A女の理由

《単元前》

わからない

《単元後》

点差があまりなくて、ノーアウトだったら1塁側に打って、自分がアウトでも進塁打にできるようにする。  
1塁側に守備がよくできる人がいたら3塁側へ打つ。  
3塁の守備の人が前の方にいたらおもいきり打つ、後ろだったら前の方に

【資料16】「あなたがバッターでランナー1塁だったらどうしますか?」に対するA女の答え